

**平成30年度
第2回豊川市社会教育審議会
会議録**

平成30年9月28日（金）開催

日時：平成30年9月28日（金）午後2時 開会
会場：豊川市音羽文化ホール 大会議室

出席委員

会 長	細 野 文 治
副 会 長	伊 奈 克 美
委 員	柴 田 斉 子
委 員	柴 田 功 己
委 員	穴 吹 富貴子
委 員	井 上 豊 重
委 員	仲 野 雅 俊
委 員	権 田 静 司
委 員	片 桐 早奈美
委 員	山 川 和 明
委 員	塚 越 京 子
委 員	藤 原 利 江

以上12名
(1名欠席)

事務局

教育長	高 本 訓 久
教育部長	関 原 秀 一
教育部次長	前 田 清 彦
中央図書館長	細 井 正 久
中央図書館主幹	尾 崎 浩 司
スポーツ課長	戸 荏 憲 司
生涯学習課主幹	林 弘 之
〃 課長補佐	大 茂 陽 一
〃 主事	林 雅 司

以上9名

議題

- 1 社会教育委員による研究テーマ「学びを生かしたまちづくり家庭・学校・地域との連携」について
- 2 小坂井地域交流会館（仮称）について
- 3 その他

(午後 2 時 開会)

「事務局」 皆様、大変お忙しい中をご参集いただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より、平成 30 年度第 2 回社会教育審議会をはじめさせていただきます。

それでは、はじめに細野会長よりご挨拶をお願いいたします。

「会 長」 中間期で第 2 回目の開催になります。今日は、一年半取り組んでまいりました社会教育委員による調査・研究テーマついて、報告書の構成案の土台ができましたので、その審議が中心になろうかと思えます。

委員の皆さんにはこれまでの視察や議論など、ご多忙の中で多数の方にご参加いただきまして感謝しております。皆さんからの意見は非常に多様であり、所属されているそれぞれの団体でのお立場や、実際の活動をベースにしたものであり、大変重みがありましたし、社会教育の窓口というものは広いなと感じました。皆さんも視察や議論を通して委員としての幅が広がったのではないのでしょうか。

今後も議論の場はありますので、引き続き建設的な議論をお願いできればと思います。本日はよろしくお願いいたします。

「事務局」 ありがとうございます。続きまして、高本教育長よりご挨拶を申し上げます。

「教育長」 皆様のお顔を拝見させていただいて、改めてそれぞれの組織・団体の中で中心となってご活躍されている方ばかりにお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今日は、会長さんからもお話がありましたように、昨年度から取り組んでこられた調査・研究テーマについての案を議題にしてご意見をいただくということで、よろしくお願いいたします。

5 月の第 1 回の折に生涯学習課・スポーツ課・中央図書館の今年度の事業についてご説明をさせていただきましたが、3 課とも大きなトラブルもなく、計画に沿って順調に事業を進めてきております。これも委員の皆様のご協力あつてのことだと思っております。1 つ挙げさせてもらいますと、6 月には生涯学習課所管の「豊川海軍工廠平和公園」をオープンさせることができました。新聞・テレビ等でも大々的に報道していただきました。実際に多くの方にお越しいただいております。今後も様々な事業がありますので、皆様のご協力をお願いできればと思います。

「事務局」 ありがとうございます。それでは、これからの議事進行につきましては、豊川市社会教育審議会規則第 4 条に基づき、会長のもとで進めていただ

きたいと思います。

なお、資料を事前に送付してありますが、お持ちでない方はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは細野会長よろしくお願いいたします。

「会 長」 それでは、次第に従いまして、議事に入らせていただきます。議題（１）社会教育委員による研究テーマ「学びを生かしたまちづくり家庭・学校・地域との連携」について事務局から説明をお願いします。

「事務局」 議題（１）社会教育委員による調査・研究テーマ「学びを生かしたまちづくり家庭・学校・地域との連携」について資料に基づき説明

○今後の調査・研究スケジュール

- ・平成３０年９月２８日（本日）
第２回社会教育審議会及び第３回ワークショップを開催
- ・平成３０年１２月
第４回ワークショップを開催予定
※意見を集約した報告書の提示、案に関する意見聴取
- ・平成３１年１月
委員へ報告書最終案送付、意見聴取
- ・平成３１年３月
第３回社会教育審議会及び第５回ワークショップを開催
※教育委員会定例会へ提出する最終報告案の確認
平成３１年３月もしくは４月

○社会教育委員による調査・研究テーマ『学びを生かしたまちづくり家庭・学校・地域との連携』報告書とりまとめ構成案

- ・第１章～第４章の４部構成
- 第１章 報告書の作成にあたって
 - １ 平成２９・３０年度の調査・研究テーマ
 - （１）調査・研究テーマの選定にあたって（経緯や選定理由など）
 - （２）社会教育審議会の検討経過
 - （３）現場視察の経過
 - （４）ワークショップの経過
- 第２章 本市における家庭・学校・地域との連携の現状と課題
 - １ 家庭をとりまく現状と課題
核家族化の進行、家庭の教育力の低下、親・祖父母世代の教育
 - ２ 学校教育をとりまく現状と課題
学校の日々のマンネリ化、教員の多忙化解消、子ども達の多忙化、青少年健全育成との連携
 - ３ 地域との連携に関する現状と課題
学校運営協議会と放課後子ども教室の関わり、生涯学習指導員

との関わり、地域の方の参画

4 行政内連携の現状と課題

学校教育との連携、小坂井複合施設での事業連携

5 生涯学習課所管事業に関する現状と課題

講師不足、会場不足、企業連携、放課後子ども教室の今後、講師の高齢化、受講生の固定化、内容のマンネリ化

第3章 家庭・学校・地域との連携についての今後の方向性について

1 既存事業の改善提案

委員からの意見や提案を反映し、事業改善に向けた方向性を記載
※複数の部署で同じような事業を実施しているため、統合や特徴に応じた差別化等の改善提案が可能と考える

2 小坂井地域交流会館（仮称）の事業展開に向けた提案

リーディング事業であり、次に続く地域（一宮・音羽・御津・旧豊川市域）での事業に大きく影響する
パイオニア事業としてとても大切

第4章 『第3次豊川市生涯学習推進計画』の中間見直しを見据えた検討

1 生涯学習推進計画 PDCA サイクル

本計画の期間は平成28～37年度

中間の平成32年度を目安として中間見直しを実施

2 次期の社会教育委員による調査・研究テーマについて

「『第3次豊川市生涯学習推進計画』の中間見直しに向けた検討」

「会 長」 ただいまの説明につきまして、ご意見等がありましたらお願いします。

「委 員」 行政全体で事業のあり方等が検討されていると伺っていますが、そのこととの兼ね合いで反映されるものはあるのでしょうか。

「事務局」 以前皆さんにお示ししたとおり、子育てや家庭教育に関する事業について、似たような事業を各課で実施している状況です。各課で協調して事業を集約したり、特徴的なものであれば差別化を図るなど、庁内の検討部会の中でも議論をしています。第2章の4 行政内連携の現状と課題で問題点の洗い出しをし、第3章の1 既存事業の改善提案で検討した内容を整理し、方向性を示していけたらと考えています。

「委 員」 現段階では、この事業は削るとか、一体化するといった結論にはまだ至っていないわけですか。

「事務局」 まだ結論には至っていませんが、今後検討を重ね、報告書に掲載で

きるものにしていきたいと思います。

「会 長」 他にご意見もないようですので、原案どおりご了承いただいたものとしてよろしいですか。

(異議なしの声)

「会 長」 次に議題（２）小坂井地域交流会館（仮称）について 事務局より説明をお願いします。

「事務局」 議題（２）小坂井地域交流会館（仮称）について資料に基づき説明

○配置計画の考え方

- ・ 小学校、中学校に隣接した場所に建設されるため、今回の研究テーマの一つ「学校との連携」について実現可能な施設と言える

○平面計画の考え方（１階：ホール）

- ・ １階のホール（こざかいの土間）が児童館や生涯学習会館の集会室、支所に面しており、それぞれの機能を拡張するスペースとして活用可能
- ・ 広いホールでは、ロビーコンサート等のイベントに活用可能

○平面計画の考え方（２階：ラウンジ）

- ・ ２階の階段を上がり切った所に **BDS**（ブックディテクション）を配置するため、２階に多く配置されているラウンジやテラスで図書の閲覧ができる構造となっている
- ・ 委員からの意見をいくつかハード面で反映させた
小中高生の学習スペースが欲しい
→会議室②やラウンジを学習スペースとして開放予定
広い駐車場があると良い
→本館側に１０１台、現生涯学習会館側も建物を撤去して駐車場とするため、広い駐車場が確保可能

○施設再編整備のスケジュール

- ・ 小坂井支所の移転（平成３１年１月１２日(土)～１月１４日(祝)）
- ・ 平成３１年度より、現小坂井庁舎の解体、新複合施設の建設開始
- ・ 平成３２年度中頃に建設工事が終了、外構工事、平成３２年度末に竣工
- ・ 現生涯学習会館、小坂井図書館、こざかい児童館については、平成３２年度末（平成３３年３月）まで現在の施設で営業を継続
- ・ 平成３３年度より、新複合施設の供用開始及び各機能の移転を予定
- ・ 平成３３年度前半で、生涯学習会館、図書館、児童館、旧資料館を解体し、駐車場とする予定

○市民参加ワークショップについて

- ・ 第１回：平成２９年１１月２９日に開催

・第2回：平成30年6月27日に開催

「会 長」 ただいまの説明につきまして、ご意見等がありましたらお願いします。

「委 員」 小坂井で行われているワークショップについては、今後どのぐらいの回数を予定されていますか。

「事務局」 今後もやる予定とは聞いていますが、具体的に何回というのは情報を持ち合わせておりませんで、お答えできません。

「委 員」 愛称については、あった方が良くと思いますが、小坂井ではどのように考えていますか。

「事務局」 現在は仮称で進めておりますが、開館までには正式名称・愛称・コンセプトを定める必要があります。公募にするのかワークショップで検討していくのかは不明ですが、住民の方の意見を聴きながら決めていくことになりうかと思います。

「委 員」 ワークショップについては、開館後も運営方法等を話し合う場として続けていくと良いと思います。私と同じ活動をしている小坂井の方が「とても気に入っている」と言っていて、実際にワークショップの写真に何名も写っています。地元の方は特に気にしていると思うので、始まってもある程度の期間は続けてもらえたらと思います。

「事務局」 2019年、2020年が工事期間であり、2021年度に供用開始になるわけですが、運用ルールを作るためのワークショップですとか、イベント企画のためのワークショップですとか、様々あって良いと思います。ちなみに1回目・2回目のワークショップについては、今の生涯学習会館、児童館、図書館、支所に関係している方、利用している方を中心にお声掛けをしました。委員のおっしゃるとおり、その方々は非常に注視されていて、関わりたいという思いの強い方がほとんどだと思います。工事期間中や供用開始後も何らかの形で関わってもらいたいと思っています。

「委 員」 交流会館で事業を始められていくわけですが、講座への参加や部屋の利用など、市域全体の方を対象とするのか、小坂井地区限定とするのかについてはどういったお考えでしょうか。

「委 員」 生涯学習会館中心にしかお答えができませんが、市域全体を対象と

しており地域限定ではありません。それに対して公民館については、一応は市域全体の方が使えるようになっていますが、地元の方に先行予約があったりと、地域密着型の施設になっています。新しくできる小坂井交流会館の生涯学習会館に関して言えば、オール豊川市として市域全体の方に使っていただく施設です。

「会 長」 その辺りについては、小坂井の住民の方は了承しているのでしょうか。

「事務局」 現在の生涯学習会館とシステムは変えずそのままやっていきますので、おそらく抵抗はないのではないかと思います。

「委 員」 先ほどコンセプトについて言われていましたが、本来コンセプトというものは、建設計画の策定時には作っておかなければいけないのではないのでしょうか。ただ、遅くはありませんから、一年前と言わず早い段階で決められるといいのではないかと思います。

「会 長」 運営委員会については、メンバーは全市域から公募するということになるのでしょうか。

「事務局」 運営委員会については、まだ議論が及んでいないのが正直なところです。

「委 員」 私どもオープンカレッジは多くの講座が様々な会場を使わせてもらっています。小坂井をはじめ、各地域で施設の複合化が検討されているとのことですが、今後も同様に使わせてもらえるのか少し気になります。

「事務局」 現段階では固まっていないのが正直なところです。新しい施設を含め、生涯学習会館・公民館を中学校区に1つ置くという方針で生涯学習課としては動いています。現在は10中学校区に対して、代田・金屋校区を除いて8つしかありません。リーディング事業としての小坂井、残りの旧宝飯郡のどこかで先んじて行われていくのではないかと思います。それと並行して旧豊川市域の公民館についてもあり方を検討している最中です。それも複合化は選択肢の一つとしてあります。将来的には10中学校区それぞれに社会教育施設があるようにしていきたいと、願望的なものも含めてそう思います。

「委 員」 各地域のホールも無くなっていくような話を聞いたので、どうなるのかなと思った次第です。

「事務局」 ホールに関しては所管が異なるので明言はできませんが、市としては八幡地区に新しい文化会館を建設する方針でいるようです。今ある各ホールについては、将来的には施設統合の流れの中で無くしていく方向だとは聞いています。委員が心配されているのはオープンカレッジの会場の確保についてだと思いますが、複合施設が今後出来上がっていくと、当然広くなりますので会場には最適だと思いますし、将来的に各地域に置かれると、市域全体で講座の開催が可能になると思います。

「会 長」 それでは他にご意見もないようですので、小坂井地域交流会館についてご理解いただけたということでよろしいですか。

「会 長」 それではこれで、すべての議題が終了しました。委員の皆さん、事務局から他に連絡事項はありませんか。

「事務局」 特にありません。

「会 長」 それでは、以上をもちまして本日の社会教育審議会を終了させていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

(午後 3 時 閉会)